

「胆嚢神経内分泌癌の術前診断予測因子の探索」に関する研究

1. 研究の対象

2005年10月1日から2020年12月31日の間に当院で外科的切除術を施行し、病理学的に胆嚢悪性腫瘍と診断された患者さんと胆嚢神経内分泌癌と診断された患者さん

2. 研究目的・方法

胆嚢神経内分泌癌は胆嚢原発悪性腫瘍のうち4%程度と非常に稀な疾患です。悪性度も高く、手術により切除しても早期に再発してしまうことが多いため、手術による切除は治療法として適していないとする意見も多くあります。そのため、手術をする前に胆嚢神経内分泌癌の診断することはとても重要ですが、確実に診断するのは難しいのが現状です。今回、電子カルテや手術記録などの情報をもとに、胆嚢神経内分泌癌の臨床的特徴を採血による様々な検査値や栄養状態、レントゲンやCT画像等を用いて解析し、胆嚢神経内分泌癌に何か特徴がないか、手術前に診断できるかどうかを検討します。

研究期間は病院長承認日から2021年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報録上に記載された手術関連情報、術前採血検査結果、術前画像検査結果、術後無再発生存期間、術後生存期間など

患者背景: 性別、年齢

血液学的検査: WBC, Hb, Ht, Plt, PT, APTT, リンパ球比、単球比

血液生化学検査: TP, Alb, T.bil, D.bil, ALP, AST, ALT, LDH, CPK, ChE, γ GTP, T.chol, TG,

BUN, Cre, Na, K, Cl, AMY, HbA1c, CEA, CA19-9

栄養学的指標: NLR (Neutrophil-lymphocyte ratio), LMR (Lymphocyte-monocyte ratio), PLR, PNI (prognostic nutrition index)

術前画像検査: 術前腫瘍径、腫瘍部位

術後生存期間および無再発生存期間

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 消化器外科 木内亮太

住所：磐田市大久保 512-3

電話番号：0538-38-5000（代表）

研究責任者：上記